



ツバメが飛び交い上空にヒバリが囀り、池面は静かで蒸し暑さを感じながら歩きました。時折ウグイスばかりかホトトギスの声が聞こえてきました。アカメガシワの黄色い花、垂れ下がるサカキの花が芳香を漂わせ、さまざまな生きものが活動しているのを感じます。トウカイコモウセンゴケが咲き始めました。



アオバネサルハムシ

体長 3mm の小さな葉虫がノイバラの花などでよく見つかりました。ヨモギなどを食べます。



トガリアシナガグモ

黄色く脚の長い蜘蛛で、水辺で見られる蜘蛛です。立派な大顎を持っています。



ハキリバチの一種

花粉と蜜で花粉団子を作って幼虫の餌にする花蜂の仲間です。葉を円く切って適当な隙間に筒状の巣を構え花粉団子を蓄え産卵します。



トウカイコモウセンゴケ

湿地の植物ですが、表面に水がなく乾き気味でも生育します。ここは粘土を多く含む土壌で、毛管現象でわずかな水分が持続的に供給される場所です。



アカメガシワ

黄色い雄花が満開でした。近づくと良いにおいがします。雌雄異株で、雌花（左）は少し遅れて咲き始めます。



ナガコガネグモ幼体

水辺に多い蜘蛛で、草の間に巣をかけます。こどもは体を隠すように太めの糸で居場所を作り、大きくなると中心を通る帯を作るようになります。



ヤマモモ

雌雄異株の木です。3月上旬雄花が咲き、下旬に雌花が咲きました。あれから2ヶ月、鈴生りの実が順に赤く熟していきます。ほどよい酸味が感じられます。



ムラサキシキブ



淡い赤紫の花が咲き始めました。近くで見ると中心に黄色いおしべがあります。秋に紫色の実をつけます。



コマルハナバチおす

ミツバチよりやや大きめで、送粉者として活躍する昆虫の雄です。女王は地中に巣を構え産卵します。雄は交尾後一月あまりで命を終えます。



クロマドボタルおす

頭部近くに透明な窓があるのが名前の由来。雌は雌は淡黄色で羽が退化しているようです。昼間活動しますが。夜間弱い光を発します。



オオクチプトゾウムシ

体長10mm。クズなどにいるコフキゾウムシの2倍くらいです。体を覆う鱗片は脱落しやすく赤褐色の体色が現れています。



キノコ

サクラの枯れ枝に白いふわふわな感じのものがぶら下がっていました。調べてみるとヒラフスベというキノコだと思われます。

植物 ヒメジヨウ、ブタナ、トウカイコマウセンゴケ咲き始める、ワルナスビ、ヒルガオ、アオツツラフジ、チガヤ種飛ぶ、ムラサキシキブ咲く、ヤマハギ、アカメガシワ匂う、サカキ匂う、シャシャンボ花蕾、実(ナワシロイチゴ熟す、ヤマモモ一部熟す、イスノキ、ネズ、マメガキ少ない、ヒサカキ、シロダモ、フジ、コナラなど)、アジサイ、アリストロメリア、オオバギボウシ、**昆虫** キタキチョウ、ツバメシジミ、ベニシジミ、ナミアゲハ、ウスオエダシヤク、スジベニコケガ、ムモンシロオオメイガ、クロテンシロヒメシヤク、不明2種、シタバガの一種幼虫、ツチイナゴ交尾、幼虫(クルマバッタ、キリギリス、ツユムシ、ホシササキリ、カマキリ、ナナフシ)、ホシハラビロヘリカメムシ、ウンカの一種、ハゴロモ類幼虫、ヒゲナガアブラムシ類、シオカラトンボ雌、ヤマトクサカゲロウ、クサカゲロウ類卵・優曇華の花、シロテンハナムグリ、コアオハナムグリ、コフキゾウムシ、クチプトゾウムシ、ヤマイモハムシ交尾、ナミテントウと幼虫、ムーアシロホシテントウ幼虫、クロマドボタル、ベニボタル、ハキリバチの一種、コマルハナバチ雄、クロヤマアリ、アミメアリ、トビイロシワアリ、アリ地獄大きくなる、ヒサマツムシヒキ、**蜘蛛** トガリアシナガグモ、ヤマシロオニグモ幼体、ジョロウグモ幼体、ナガコガネグモ幼体、チュウガタシロカネグモ、ゴミグモと卵のう、ハマキフクログモ、ササグモ雌雄、ネコハエトリ雄、**鳥、その他** ヒバリ上空で轉る、ウグイス、ホトトギス、ツバメ、スズメ、ハシボソガラス、カワウ、カルガモ、コサギ、ゴイサギと幼鳥、トカゲ幼体、カナヘビ、菌(光合成をする地衣類、ヒラフスベ?)、虫瘤(イスノキで4種) **次回7月13日(木) 午前9時30分 水資源機構・P前 雨天中止 参加費100円**